

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 契約監理課											
	作成責任者	神内 明宏											
	事業名	契約検査一般管理事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費	会計	一般会計	事業コード	810435	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする								
	開始年度	平成24(2012)											
	終了予定年度	平成32(2020)											
	関連計画等												
	根拠法令等	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	○福知山市が発注する建設工事及び設計等業務委託の入札において、電子入札を効率的に使用して、競争性・透明性・公平性・公正性の向上を図る。 ○多種多様な入札制度の導入や検査体制の充実などについて、入札、契約や検査の指導的立場となって担当職員研修などを行うことにより、公共工事などの品質確保を図るとともに、コスト削減を目指す。 ○建設工事・設計等業務委託・役務・物品の入札参加申請及び資格審査の窓口を一本化し、効率化を図る。					
	対象者	建設工事及びコンサルタント業者	対象者数	1,295	単位あたりコスト	45.7	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	○福知山市が発注する建設工事及び設計等業務委託の入札に京都府電子入札システムを活用して行い、その工事・業務の契約検査を行う経費。 ○電子入札により公正・公平で透明な競争性のある入札を実施する。また、落札決定した工事などの契約及び検査を実施する。 ○建設工事・設計等業務委託・役務・物品の入札参加申請及び資格審査の窓口を一本化して、申請者の利便性の向上を図る。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		旅費	各種協議会や研修会参加旅費			93	
		需用費	設計積算資料や入札契約事務に係る消耗品等の購入			441	
		役務費	電子入札通信料や業者への電話連絡、郵送料			339	
		委託料	電子納品確認ソフト保守管理料			16	
使用料及び賃借料		京都府電子入札システム使用料及びコリンズ・テクリス年間契約料			521		
関連事業	○平成29年度から契約検査に係る2事業の「契約検査・入札参加資格審査事業」と「電子入札事業」とを統合し、「契約検査一般管理事業」とした。						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	0	2,204	2,145	2,708	
	②修正予算			0		
	③流充用額	0	1,296	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	3,500	2,145	2,708	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	- / 7.7 / 0	6.85 / 0.9	6.85 / 0.9		
⑤概算人件費		0 / 61,600	57,050	57,050		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		0 / 65,100	59,195	59,758		
⑦執行額		0 / 2,585	1,518			
執行率 (7/(①+②+③+④)×100)		0.0%	73.9%	70.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		不正な入札(談合情報の有り含む)	件	- / -	0 / 0	0 / 0	/	0
			0	/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		入札実施件数	件	- / -	367 / 450	352 / 450	/	450
		単位あたりコスト		-	7.0	4.3		
電子入札実施件数	件	- / -	274 / 330	250 / 330	/	350		
単位あたりコスト		-	9.4	6.1				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	○入札の透明性、公平性や公正性の向上、さらに不正な入札を防止するものとして、引き続き電子入札を執行する。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	○担当職員に、多種多様な入札制度の導入や検査体制の充実に関する研修等を行うことで、公共工事などの品質確保を図るとともに、コスト削減を検討する。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○電子入札を執行することにより、談合防止が図られ、入札の透明性が向上する。また、入札参加者の利便性が高まり、公平性、競争性が確保される。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	○設計金額250万円以上の建設工事とコンサルタント業務を全件電子入札にすることで、入札の透明性や公平性・公正性、競争性を確保できている。 ○各業種の入札参加申請の受付窓口を一本化することにより、更なる申請業者の利便性の向上を図った。 ○各種調達区分に関連する標準契約書(案)を作成して、庁内配信することで、契約書の統一化を図った。		
	今後の課題及び方向性	○設計金額250万円未満の建設工事は、紙入札を執行しているが、今後、建設工事の全件が電子入札により執行できるように、段階的に取り組んでいく。 ○会社規模が小さい建設業者については、対応が難しいところもあるが、協力要請を継続していく。 ○建設工事全件の電子入札とあわせて、予定価格の公表基準や組織体制などの課題について、検討する。		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		所見
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	
	予算への反映 【財政担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 契約監理課											
	作成責任者	神内 明宏											
	事業名	入札制度一般管理事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費	会計	一般会計	事業コード	810490	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070103	施策名	課題への対応力を強化する体制づくりを進める								
	開始年度	平成21(2009)											
	終了予定年度	平成32(2020)											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	○「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の趣旨を踏まえ、本市が発注する建設工事の入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性と公平かつ公正な競争を確保する。 ○入札における透明性・公平性・公正性・競争性のさらなる向上を目指すとともに、市内中小企業の受注機会の拡大やそれに伴う地元雇用の創出、適正な労働条件の確保を目指すため、入札制度の見直しを行う。					
	対象者	建設工事及びコンサルタント業者	対象者数	1,295	単位あたりコスト	6.5	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	○福知山市が発注した建設工事に関して、入札及び契約の手続きの運用状況などや一般競争入札、指名競争入札に係る参加資格の設定理由及び経緯などについてを入札監視委員会で審議する。 ○入札監視委員会では、福知山市建設工事苦情処理手続要綱に基づく再苦情処理を行う。 ○施行中の入札制度を評価・検証し、今後、福知山市が実施していくための改善方法について、入札制度改革等検討委員会で審議を行う。					

主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	報酬	入札監視委員会及び入札制度改革等検討委員会の委員報酬	120
	旅費	委員等実費弁償及び事前協議旅費	80
	需用費	事務用品等消耗品購入	6
	役務費	委員への電話連絡、郵送料	5
	使用料及び賃借料	事前協議に伴う高速道路通行料	11

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	0	646	629	446	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	646	629	446	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	-	1.2 / 0	0.95 / 0.1	0.95 / 0.1
⑤概算人件費		0	9,600	7,850	7,850
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		0	10,246	8,479	8,296
⑦執行額		0	207	222	
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		-	32.0%	35.3%	0.0%

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		意見具申及び再苦情処理	回	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/	0
		課題の検証	回	- / -	1 / 3	1 / 3	/	3
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		入札監視委員会	回	- / -	2 / 2	2 / 2	/	2
		再苦情処理	回	- / -	0 / 2	0 / 2	/	0

単位あたりコスト	0.0	103.5	111.0
単位あたりコスト	-	-	-

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	○契約の過程や契約の内容の透明性の確保・維持のためにも、取り組む必要性は非常に高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	○事業コストについては、ほぼ改善の余地は無い。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○調達方法の基準や発注基準など、一定ルール化された中で、入札や契約を行っているが、委員会の審議を経ることでその過程などの公平・公正・透明性を確保し、詳細に検証することができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>○入札監視委員会を年2回開催して、本市が発注した250万円以上の建設工事の入札及び契約の過程並びに契約の内容について、委員が抽出した10件について審議が行われた。</p> <p>○「福知山市公契約大綱」を平成29年4月に制定した。</p> <p>○入札制度改革等検討委員会で審議された「公募型プロポーザル方式ガイドライン」を平成30年2月に制定した。</p> <p>○入札制度改革等検討委員会において、入札の検証を行うことにより、入札制度が適正であることが確認された。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>○建設工事の入札及び契約の過程などは、入札監視委員会の審議を受けて検証を繰り返す。</p> <p>○「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の趣旨を踏まえ、入札及び契約の過程などの検証を継続する。</p> <p>○入札制度改革等検討は、検証・評価を繰り返しつつ、社会経済情勢を鑑みて見直しを行っていく。</p> <p>○入札制度改革を求める決議などの趣旨を踏まえ、改革課題についての審議が完了するまで現状維持で進める。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】